

磐田市

# 桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより



第235号 2023年12月号

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)  
住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地  
電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



## はかせ ベッコウトンボ博士になろう!

桶ヶ谷沼のトンボといったらベッコウトンボですが、以下のベッコウトンボに関する説明を読んで、あなたもベッコウトンボ博士になろう。

- ① 羽化 (ヤゴから成虫になること) が3月中旬から始まる春のトンボです。成虫が見られるのは6月上旬までです。
- ② かつては宮城県以南の29の都府県で見られましたが、現在は鹿児島県、大分県、福岡県、山口県、静岡県の5つの県のしかも限られた地域 (静岡県では桶ヶ谷沼だけ) でしか見られません。
- ③ タイマイというカメの甲羅から作る装飾品の原料を龍甲 (ベッコウ) といい、その色や模様似ているのでベッコウトンボという名前になりました。この体色はこの時期の枯草に紛れるための保護色と考えられます。
- ④ ベッコウ色をしているのはメス (写真1) と未成熟のオス (写真2) で、成熟したオスは黒褐色 (写真3) になります。
- ⑤ 絶滅危惧種 I A 「ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの」に指定されています。捕獲すると罰則が科されることがあります。
- ⑥ 学名は「*Libellula angelina* (Selys, 1883)」で、「天使のようなトンボ」という意味です。
- ⑦ 全長4cm前後の小型のトンボです。
- ⑧ 幼虫であるヤゴはあまり活発にエサを取りに動かないので、エサが少なくなると生存率が下がります。そのため、保全活動ではエサ (イトミミズ) を定期的に与えています。
- ⑨ 他のトンボと比べると環境の変化に弱いです。
- ⑩ ベッコウトンボの天敵には、アメリカザリガニ、クロスジギンヤンマ、ヨツボシトンボなどがいます。桶ヶ谷沼ではこれらの天敵から守る活動をしています。
- ⑪ 磐田の昆虫に指定されています。
- ⑫ 磐田市内にはベッコウトンボをモチーフとしたマンホールのふたが見られる地区があります。(写真4)



写真1



写真2



写真3



写真4

**羽化は3月中旬からです。ぜひ見に来てください。**

# 成虫で冬を越すトンボ・・・？

12月になり、いよいよ冬がやってきました。先日まで目にすることができていたアカトンボの姿も見ることができなくなりました。

この時期、ベッコウトンボをはじめ桶ヶ谷沼のほとんどのトンボたちは、温度変化の少ない水中でヤゴの状態じょうたいで冬を越します。一方、アキアカネなどアカネ属は乾燥に強い卵の状態じょうたいで冬を越します。

しかし、成虫の姿で冬を越すトンボもいるんです。アオイトトンボの仲間のオツネトンボ、ホソミオツネトンボ、ホソミトンボの3種類しゅるいです。「オツネン」とは「越年＝年を越す」という意味いみです。

これらのトンボたちは冬の間は枯葉の下や樹皮のくぼみなどで寒さをしのぎながら春を待っています。冬でも暖かい時間帯には飛ぶ姿を見ることがもできます。

なぜ、冬を成虫で越すのでしょうか。そのメリットは、春がやってきたら他のトンボよりいち早く餌や縄張りを確保できるからだと考えられます。

これまで桶ヶ谷沼では、3種類の内、オツネトンボとホソミオツネトンボの2種類が確認されています。



ベッコウトンボのヤゴ



オツネトンボ



ホソミオツネトンボ



ホソミトンボ

## センター行事のお知らせ (申込は直接電話かファックスでセンターまで)

### 「野鳥観察会」

☆日時

1月14日(日) 9:30~11:30

☆場所

桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼

☆対象

一般(小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)

☆内容

桶ヶ谷沼にいる野鳥の説明を受けたあと、桶ヶ谷沼に出かけマガモなどの水鳥や野鳥の観察をします。雨天の場合はセンター内で野鳥や桶ヶ谷沼の自然についての講話を実施します。

☆服装・持ち物

野外観察ができる服装(長そで、長ズボン、帽子)、水筒、手袋など防寒具、タオル、双眼鏡(ある人)、少雨の場合カッパ

\*講義中のマスク着用は各自の判断で

☆募集人数

20人

☆備考

受付はビジターセンター内です。同日に「日本野鳥の会」による観察会が予定されています。そちらの受付(第2駐車場)と間違えないようご注意ください。